



浜松市モビリティサービス推進 コンソーシアム

令和3年度第3回会議



令和3年10月7日（木）10:00～11:00



次 第

- 1 開会
- 2 共同幹事挨拶
- 3 会員の状況
- 4 オンラインセミナー（アーカイブのお知らせ）
- 5 10/25オンラインフォーラムの開催について
- 6 アイデアソンについて
- 7 浜松市内のモビリティ関連のプロジェクトについて
- 8 意見交換
- 9 閉会

2 共同幹事挨拶



- 浜松市
デジタル・スマートシティ推進事業本部長 内藤 伸二郎
- 遠州鉄道(株)
取締役 野村 和徳
- スズキ(株)
次世代モビリティサービス本部 本部長 熊瀧 潤也

3 会員の状況

- 一般会員77団体（令和3年10月7日時点）。
- R 3 第2回会議（令和3年7月28日）時点の73団体から、一般会員4団体が新規会員に。

No.	法人名
1	イーデザイン損害保険株式会社
2	株式会社SmartRyde
3	株式会社HACK
4	Yui support株式会社

※50音順

4 オンラインセミナー (アーカイブのお知らせ)

第1回プログラム

「視点の拡張」から、「自分ゴト化」につなげるプログラム設計

【講演】

- ・ Post/With コロナで加速する産業構造や社会潮流の変化
- ・ 今後の社会そして政策のあり方や、イノベーションの社会実装に向け求められること

【パネルディスカッション】

- ・ 取り組み事例の紹介を通じ、「浜松版MaaS」創出に向けたヒントや、その可能性(発展性や拡張性)について桑原氏とディスカッション

8月3日(火) 13:30-15:30 @Zoomウェビナー

■プログラム

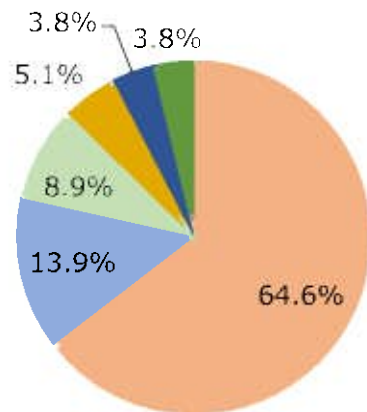
※司会：(株)HEART CATCH 代表取締役 西村真里子氏

時間	次第
13:30-13:40	【開会あいさつ】 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム共同幹事 浜松市役所デジタル・スマートシティ推進事業本部長 内藤 伸二郎
13:40-14:30	【講演： 「Society 5.0 × New Normal」ーウィズコロナの1年と今後の方向性】 Scrum Ventures VP of Strategy 桑原 智隆 氏
14:30-15:10	【パネルディスカッション：「浜松版 MaaS 創出に向けて」】 Scrum Ventures VP of Strategy 桑原 智隆 氏 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム共同幹事 浜松市役所デジタル・スマートシティ推進事業本部専門監 瀧本 陽一 スズキ株式会社モビリティサービス本部サービス開発課長 藤谷 旬生 遠州鉄道株式会社経営企画部 ICT 推進課長 小林 廉
15:10-15:30	【質疑応答】

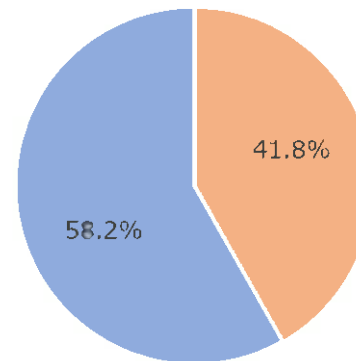
第1回セミナー申込者概要

総数79名。浜松市外(約60%)、非会員(65%)からの認知・関心も多く獲得

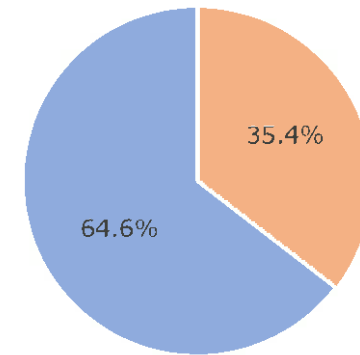
所属



所在地・居住地



会員・非会員



第1回セミナー内容：講演



SCRUM VENTURES 桑原智隆氏に、コロナ禍前後での産業構造の変化や、生活者目線によるDX推進、大企業とスタートアップの連携含めたオープンイノベーションの重要性をお話いただく。

本日お話ししたいこと

- コロナは1年以上経過した今でも影響は甚大
- コロナは、既にある構造変化を「加速」させるもの
 - ・変化の前倒し（課題の顕在化、即応）
 - ・経済や社会の前提条件の変化（リアル・集約・規模化 → オンライン・分散・自動化）
- 改めて**1年の変化を俯瞰**し（マクロ経済影響、グリーン・レジリエンス、デジタル技術）
コロナ前からの構造的課題も捉え直し（マクロ経済トレンド、マークアップ、デジタル）
 中長期、目指したい経済社会の姿についての視座
- デジタル化やコロナ禍の社会変容を「**前向きな未来への変革**」の機会へ
 原動力となる生活者目線のDX推進

技術実証にとどまらず、事業化を通じた社会実装が重要。投資や実装の担い手であり主役である民間企業が、Society5.0やコロナによって加速した構造変化を好機ととらえられるかが重要。

オンライン化が進むと既存のアセットをどう活用しようかという目線になりがちだが、**最も身近な生活者である自分や家族にとっての豊かなくらしを描き、ステークホルダーやペインポイントに寄り添ったサービスや事業アイデアを考えることが大切。**

第1回セミナー内容：パネルディスカッション

8

Digital Smart City
HAMAMATSU



桑原氏の講演内容に対する意見交換を起点に、今後のコンソーシアム活動を通じた「浜松版MaaS」創出に向けた切り口やその可能性について議論。



データ活用については必要なユースケースドリブンでない
と連携が起きようがない一方で、**ユースケースを見極める
センスや目の付け所を、コンソーシアム会員同士
で磨きあっていくことが重要**

アイデアソンやサービス実装をしていく上では、**陥りがちな自社視点
から脱却し、浜松市民の真の課題やニーズに探っていきたい**

一人ひとりのスマートフォンのアプリにライフスタイルや個性が表
れているように、**スマートシティを形作るサービスも地域の
ニーズに合ったものになっていくのも1つの理想**

首都圏よりも地域(浜松)の方が早く社会実装できる、時間の使い
方が違うがゆえに事業が成立できるということが見出すことがで
ければ、**市外の企業にとっても、「ここでやると日本全国
やグローバルに発信できる」と思ってもらえるようなリ
ビングラボ的な場や機会にできると思う。**

(コンソーシアムは)地元企業が多いのも特徴なので、**企業・社員
も市民として、自分たち・個人を幸せをできるようにサー
ビスを考えていくことが大事**

第2回プログラム

コンソーシアム会員企業の自動運転に関する実証実験の事例等を通じ、国土縮図型都市である浜松市で、自動運転が実装する社会を展望する。

- ・ 会員企業の取組事例から、自動運転の現在地やボトルネックとなっている点について理解を深める
- ・ 自動運転に関する取組みの、競争・共創・共有領域を探る
- ・ 多様なフィールドを持つ国土縮図型都市において自動運転の実装可能性を探る

9月2日(木) 13:30-15:30 @Zoomウェビナー

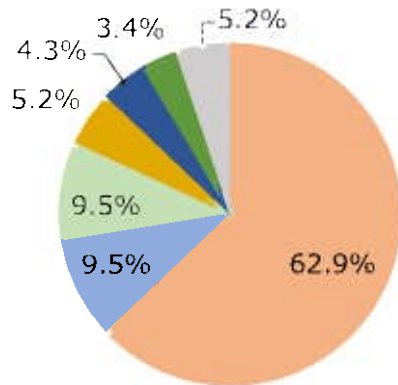
テーマ： 国土縮図型都市・浜松から展望する自動運転が実装する社会

時間	プログラム
3分	挨拶 浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部長
20分	講演：自動運転が実装する社会のアーキテクチャー 慶應義塾大学大学院/自動運転に係わる総合信頼性の 継続的確保に向けた標準化検討委員会委員長 白坂 成功氏
15分	取組発表① 浜松自動運転やらまいかプロジェクト スズキ(株) 四輪電子システム開発部 自動運転システム開発課係長 秋田 晃氏
15分	取組発表② 浜松市水窪での実証実験 株式会社モビ 代表取締役 川手 恭輔氏
15分	取組発表③ ヤマハ発動機にとっての自動運転 ヤマハ発動機(株) ヤマハ発動機株式会社 技術・研究本部研究開発統括部長 飯田 実氏
15分	取組発表④ ティアフォーが目指す自動運転の実現に向けて (株)ティアフォー 取締役COO 田中 大輔氏
40分	パネルディスカッション 白坂氏、秋田氏、川手氏、飯田氏、田中氏、 瀧本氏 (浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部専門監)

第2回セミナー申込者概要

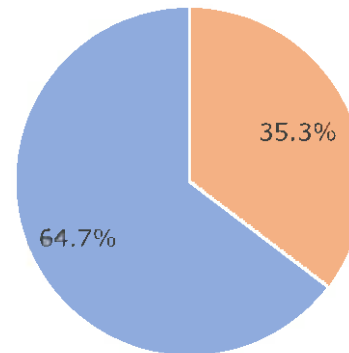
総数116名。浜松市外(約65%)、非会員(82%)からの認知・関心も多く獲得

所属



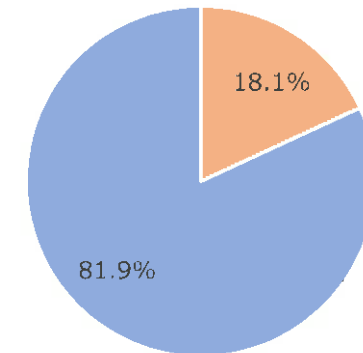
- 企業
- 国・地方公共団体
- 個人(学生以外)
- 個人(学生)
- 大学・研究機関
- 一般社団法人・NPO法人等
- その他

所在地・居住地



- 浜松市内
- 浜松市外

会員・非会員



- 会員
- 非会員

第2回セミナー内容：講演



慶応義塾大学大学院 白坂成功氏に、自動運転時代に求められるアーキテクチャについてお話しいただく。

まとめ

- 自動運転時代には、横櫛のアーキテクチャ社会となる
- アーキテクチャが重要なのは以下の理由
 - 設計対象範囲の変化
 - Society 5.0の実現
 - コンテキストの変化

民間と行政が一緒になり
 新たな自動運転時代をつくるため
 挑戦をしながらどんどん進化させる
 浜松のモビリティ



製品とルールとインフラを同時に設計することが求められ、従来の設計対象範囲が変化したことから、アーキテクチャが必要になっている

VUCAといわれる変化の激しい時代・不確実な時代では、動的な変化を前提としたアーキテクチャーづくりが重要

システム同士がつながり始めたSoS(System of system)時代においては、縦割りの産業構造が、レイヤー構造をもった産業構造に変化する。
 その中では多様なプレイヤーが多様なサービスを展開するための連携や環境が必要になる。

第2回セミナー内容：パネルディスカッション

12

Digital Smart City
HAMAMATSU



自動運転における課題・ボトルネックの理解醸成、競争・共創・共有領域におけるアプローチ探索をテーマにディスカッション



環境整備や社会の受容性にこだわりすぎず、**本当に必要なところに入っていくことを大事にしたい。**

既存の交通ステークホルダーとの折り合いをどうつけるか、**どのタイミングで持ち込むかが重要**

自動運転が来ても、タクシーの運転手の職がなくなる、という状況をつくる。**対立構造にならないように設計していくことが大事。**

横串を滑らかに伝えるには、自分たちの言葉ではなく、相手・地域の生活者の言葉で伝えていくことが非常に大切になる。

自動運転を実際に交通事業者に提供していく際には、**コンテキストを含めた大きな翻訳活動が必要。**

自動運転を導入してすべてが終わりといのは幻想。需要が劇的に増えるわけではなく、副次的なサービスや体験創出を検討することが大事。

各社の取り組みを機能させるために、自治体としてコンソーシアムとしてできることがもっとある。

対立しがちな領域を話し合いを通じて共創・協調領域にシフトさせていきたい。

オンラインセミナー当日の資料について

当日の動画や投影資料は、
以下浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムの
特設ページにアップしています。

<https://www.month.hdsc.city/mobiseminar>



HDSC MONTH

ホーム

- デジタル・スマートシティ浜松「ウェビナー」シリーズ
- 令和3年度冠事業一覧
- デジタル・スマートシティ浜松「オンラインセミナー」
- 令和3年度官民PF会員ソリューションピッチ
- 「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」オンラインセミナー
- 令和3年度デジタル・スマートシティ関連イベント・セミナー等（冠事

セミナー資料



自動運転が実装する社会のアーキテクチャ

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
教授 白坂 威功

白坂威功氏



浜松自動運転やままいかプロジェクト

2021年9月2日

スズキ株式会社
四輪電子システム開発部
自動運転システム開発グループ
秋田 英

秋田英氏



mopi

公共交通空白地域のための自動運転の低速EVを使用したモビリティサービス

浜松市水産での実証実験

株式会社モビ 代表取締役
川手恭輔氏



ヤマハ発動機にとっての自動運転

—何かを成立させる手段として—



Tier IV

5 10/25オンラインフォーラムの開催について



デジタル・スマートシティ浜松 オンラインフォーラム 2021

身体と経済の健康両立で目指す“健幸に暮らせるまち”
～国土縮図型都市・浜松の挑戦～

日時：2021/10/25(月) 13:15～17:00

会場：Zoomウェビナー（参加無料）

主催：浜松市、

浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム

Digital Smart City
HAMAMATSU

“デジタル・スマートシティ浜松”オンラインフォーラムプログラム

16

Digital Smart City
HAMAMATSU

時間	内容
13:15-13:20	【開会挨拶】 浜松市長 鈴木 康友
13:20-14:00	【インプットセッション】 <u>アーキテクチャーから見たデジタル・スマートシティ浜松の現在地</u> モデレーター：浜松市フェロー 南雲氏 パネリスト：鈴木浜松市長、慶應義塾大学大学院 教授 白坂氏、 浜松市フェロー 関氏、浜松市フェロー 日下氏
14:00-14:40	【セッション1】 <u>国土縮図型都市におけるモビリティの可能性</u> モデレーター：(株)博報堂ビジネスデザイン局部長 畠山氏 パネリスト：浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム共同幹事 熊瀧氏、 (株)DELIX CEO 渡邊氏、(株)トラジェクトリー 代表取締役社長 小関氏
14:40-15:20	【セッション2】 <u>デジタルで生活にワクワクを</u> モデレーター：(株)HEART CATCH 西村氏 パネリスト：ヤマハ(株) 執行役員 大村氏、 日本アイ・ビー・エム(株) 戦略コンサルティング&デザイン 理事 古長氏、 浜松市フェロー 東氏、浜松市フェロー 陳内氏
15:20-15:30	【休憩】
15:30-16:10	【セッション3】 <u>デジタルで産業をアップデート</u> モデレーター：浜松市フェロー 東氏 パネリスト：浜松市スタートアップ戦略推進協議会委員 吹野氏、 静岡県農林技術研究所 上席研究員 佐々木氏、 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事 前田氏
16:10-17:00	【セッション4】 <u>身体と経済の健康の両立で目指す“健幸に暮らせるまち”</u> モデレーター：(株)HEART CATCH 西村氏 パネリスト：鈴木浜松市長、浜松市フェロー 東氏、浜松市フェロー 南雲氏、 浜松市フェロー 関氏、浜松ウエルネス推進協議会 顧問 池野氏

6 アイデアソンについて

2021年度アイデアソンプログラム実施概要

<実施概要>

① 実施体制

主催 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム、浜松市
事務局 株式会社博報堂（事業受託者）

② 開催日時(全3回) ※すべてオンラインで開催予定

第1回：10月19日（火）9時30分～12時00分
第2回：10月26日（火）9時30分～12時00分
第3回：11月2日（火）9時30分～12時00分

③ 開催方式

オンラインで実施(Zoom)

④ 申込方法、申込期限

10月12日（火）までに、Googleフォームに企業名・参加人数・参加者情報（部署・役職・氏名）を入力し、申し込みください。
また、今回ご参加いただく皆様の中からグループワークの進行役となるファシリテーターの補助をしていただき、サブファシリテーターを募集します。

（メインファシリテーターは博報堂が担当いたします。）ご希望の方はgoogleフォームにて指定箇所にチェックをお願いします。

GoogleフォームURL：<https://forms.gle/RZ5cgY5xA9xF78tLA>※参加にあたっての事前アンケートへのご協力もお願い致します。

※コンソーシアムの会員は、アイデアピッチの観覧を可能とし、連携企業のマッチングも参加可能とします。

⑤ 参加人数、参加料、支払方法

プログラム運営方法の都合上、各社3名までの参加とさせていただきます。

参加料 3万円（税込） **※参加回数・参加人数に関わらず、一社一律とさせていただきます。**

支払方法 1月25日実施予定のアイデアピッチ(クリエート浜松2階ホール)の際に集金させていただきます。

ご応募いただいた方には、浜松市から市の課題の共有、課題解決を目指すモビリティサービスアイデアを企業同士で共創する場の提供、ピッチイベントでのプレゼンテーションが行えます。

※本プログラムに参加されない会員もアイデアピッチの観覧を可能とし、連携企業のマッチングも参加可能とします。

⑥ お問い合わせ先

株式会社博報堂 安達右京 (tel : 080-4141-7656、mail : ukyo.adachi@hakuhodo.co.jp)

アイデアソンの目的

参加企業の関心のあるテーマに関する浜松市の課題を解決するモビリティサービスアイデアを企業同士の共創で生み出すことを通して、企業間の関係構築を促進する。

プログラム

参加企業事前アンケートの結果、関心の高かった3テーマで課題インプット×アイデアプレストを実施。

10月19日（火）0930-1200

健康・医療・福祉×
モビリティ

- ①健康増進課：15分
・ウェルネス推進
- ②高齢者福祉課：15分
・本市の高齢者に関する特徴や課題
・いきがづくり、生活支援
- ③質疑：各5分
- ④各参加者にてアイデアプレスト：30分
- ⑤休憩：10分
- ⑥グループごとにアイデア共有：30分
- ⑦グループディスカッション：20分
- ⑧全体講評（浜松市より）：15分
- ⑨クロージング：5分

10月26日（火）0930-1200

観光・商業×
モビリティ

- ①観光・CP課：15分
・国内外観光誘客、データ利活用
キャッシュレス、ポイント活用
- ②産業振興課（商業振興担当）：15分
・中心市街地活性化、商業活性化
キャッシュレス、ポイント活用
- ③質疑：各5分
- ④各参加者にてアイデアプレスト：30分
- ⑤休憩：10分
- ⑥グループごとにアイデア共有：30分
- ⑦グループディスカッション：20分
- ⑧全体講評（浜松市より）：15分
- ⑨クロージング：5分

11月2日（火）0930-1200

防災・安全×
モビリティ

- ①危機管理課：15分
・平常時の防災への備えなど啓発活動
・災害時の人員搬送、山間部への物資運搬
- ②道路企画課（交通安全対策担当）：15分
・浜松市における交通事故の特徴、データ
利活用、交通事故ワースト1脱出の取組
- ③質疑：各5分
- ④各参加者にてアイデアプレスト：30分
- ⑤休憩：10分
- ⑥グループごとにアイデア共有：30分
- ⑦グループディスカッション：20分
- ⑧全体講評（浜松市より）：15分
- ⑨クロージング：5分

各参加企業ごとにアイデア・ブラッシュアップ（必要に応じて事務局にてフォローアップ）

全体ピッチイベント(1月25日)にてアイデアをプレゼンテーション・協力企業を募りプロジェクト組成を検討

7 浜松市内のモビリティ関連の プロジェクトについて

浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト

Digital Smart City
HAMAMATSU

■プロジェクト名称

遠鉄ストアの移動スーパー

■実施団体

株式会社遠鉄ストア

■背景・目的

日ごろのお買い物にご不便を感じている方々へのお買い物支援策として運営を開始（8月5日より）。

+

商品をお届けするだけでなく、スーパーを利用される高齢の方の見守り活動を実施（浜松市との間で「はままつあんしんネットワークに関する協定」を締結）。

■概要

【販売パートナー】
1名（浜松市在住）

【車両】
スズキ キャリーを架装

【販売エリア】
・拠点店舗 大人見店（浜松市西区大人見町3367-1）
・販売エリア 浜松市北区（主に引佐地区）、浜松市西区（主に深萩地区）

【販売品目】
約400品目1,200品

【販売日程】
①月曜日 & 木曜日コース・・・19か所
②火曜日 & 金曜日コース・・・18か所
③土曜日コース・・・10か所（高齢者施設を中心に訪問）

【利用者条件】
事前に行ったお宅訪問で「ぜひ利用したい」とお答えの方に対して支援を開始、継続
・浜松市北区・・・52件、浜松市西区・・・9件
・年代は80歳以上が多く自家用車がなく近くにスーパーがないお客様が多い





■プロジェクト名称

内野台おでかけ車両貸出サービス

■実施団体

スズキ株式会社、株式会社博報堂 ※ご協力:浜松市、自治会など地域団体

■背景・目的

・浜松市の課題であり、強みでもある健康寿命への取り組みに対して、移動という観点で向き合う

・高齢者の外出を促進することで、健康寿命の延伸と地域の活性化に繋げる

・実証実験を通じて高齢者の移動課題を把握するとともに、その解決に向け、今後のサービス内容および運営方法の成立性を検証する

■概要

・地域の高齢者に、電動モビリティを共有・活用していただくシェアリングサービス

【日程】

・2021年11月1日(月) – 2021年12月10日(金)

【場所】

・浜北区内野台周辺エリア

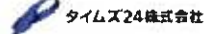
【対象モビリティ】

・セニアカー(ハンドル型電動車いす)

【料金】

・無料

全国商工会連合会×タイムズ24×東京海上日動「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」



2021年9月1日

全国商工会連合会
タイムズ24株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

全国商工会連合会とタイムズ24と東京海上日動、 「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」締結

全国商工会連合会(会長・森 隆久、以下「全国連」)、タイムズ24株式会社(代表取締役社長・西川 光一、以下「タイムズ24」)、および東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長・広瀬 伸一、以下「東京海上日動」)は、地域の遊休資産や空きスペースの有効活用等を通じて、地域交通の利便性向上や自然災害に対するレジリエンス強化を図り、地域経済を発展させることを目的に、「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 背景・経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、市街地での密な活動が抑制されたことで、三密を避けるための移動手段として自動車利用に注目が集まっています。また、ポストコロナ時代では商業地や観光地を中心に、地域への流れが増加していくことへの適応が求められます。

さらには、近年自然災害が頻発・激甚化する中、地域では罹災時における災害復旧の遅れが懸念されており、防災体制の強化も必要となっています。

今般の協定により、全国連が強みとする地域経済の活性化機能、タイムズ24が強みとする快適な交通インフラサービス、および東京海上日動がこれまで地域社会を支援してきたリスクマネジメントのノウハウを結集・融合することで、地域の防災力を高めるとともに、住み続けられるまちづくりを実現し、地域経済の活性化を目指します。

2. 具体的な連携内容

- (1) 全国連は、商工会が行う日々の経営支援を通じて、会員等の経営者やその家族を含むステークホルダーとコミュニケーションを図り、地域の遊休資産や空きスペースの経済的・社会的価値の向上を図ります。駐車場利用データの活用により、移動者の行動理解につなげるとともに、地域産業の磨き上げを実現します。
- (2) タイムズ24は、地域の遊休資産や空きスペースを有効活用したいオーナーと、駐車場を確実に確保したいドライバーとをマッチングする予約制駐車場「タイムズの 日」を提供します。商工会に対して説明会を実施するほか、全国連から各都道府県の県選を通じて「タイムズの 日」への登録を新求し、遊休地を「タイムズの 日」としてご登録いただくことで、地域交通の利便性向上を図ります。
- (3) 東京海上日動は、ハザードマップを参考とした空きスペースの駐車場活用提案等を検討するとともに、保険の提供を通じて、自然災害発生時の地域の安心・安全の確保および早期復旧を目的とした円滑な駐車場の利用を実現します。また、既存の交通機関を降りてから目的地までの「ラストワンマイル」の移動最適化を目指す MaaS 等に起因する新たなリスクに対応した保険の開発・提供を通じ、安心・安全で豊かな地域の創造に貢献します。

3. 空きスペースの利活用による防災実証事業について

近年、自然災害が頻発・激甚化する中、被災地においては災害ボランティアの受入れに十分な駐車場が確保されていないケースも多く、駐車場不足に伴い災害ボランティアの受入れを断る事例や、路上駐車に起因する交通渋滞等、社会問題にも繋がっています。

このような状況を踏まえ、強くてしなやかな地域をつくるための「レジリエンス」に、空きスペースを活用したいと考え、本協定の枠組みの中でまずは下記の実証事業を始めます(別紙ご参照)。

- 地域事業者に対して駐車場登録を促し、地域の駐車場不足解消に繋げると同時に、これまで遊休地となっていた空きスペースを有効活用。
- 地震や豪雨などの災害により災害救助法が適用された地域において、一定期間、駐車場利用料金を最低料金である1日1円として利用者(被災時の車中泊利用や災害ボランティアの方等)に提供。
- 利用者に代わりタイムズ24が負担した駐車場利用料を東京海上日動の保険で補償。

【持続可能なまちづくり ロゴ】



持続可能なまちづくり

以上

持続可能なまちづくりに関する包括連携協定

空きスペースの利活用による 防災実証事業

2021.9.1 ~ 2021.12.31

地域の空きスペースには無数の可能性が秘められています。

今回は強くてしなやかな地域をつくるための「レジリエンス」に活用したいと考え、実証事業をはじめます。

① 空きスペースの収益化

- ✓ 地域の空きスペースを、設備投資なしで駐車場登録
- ✓ 駐車料金の60%がオーナーの収益に

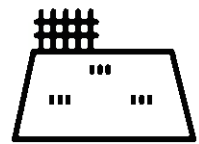
② 地域経済の発展

- ✓ 観光産業再生に取組み、地域への誘客を促進
- ✓ 地域イベントや行楽シーズンの駐車場不足も解消

③ 安心・安全の確保、早期復旧

- ✓ 災害時は、登録駐車場を一定期間最低料金（1円）に
- ✓ 被災時の車中泊利用や、災害ボランティアの方にご提供

① 空きスペースの収益化



空きスペースを



駐車場に



誘客を促進し

② 地域経済の発展



イベントの活性化や商工業の振興に



災害発生の際には



地震

洪水/内水氾濫など

早期復旧を支援し

③ 安心・安全の確保、早期復旧



災害復旧にご利用の際、駐車料金を1円に。
（ご利用者の代わりにタイムズ24が負担した駐車料金は、保険で補償）



東京海上日動

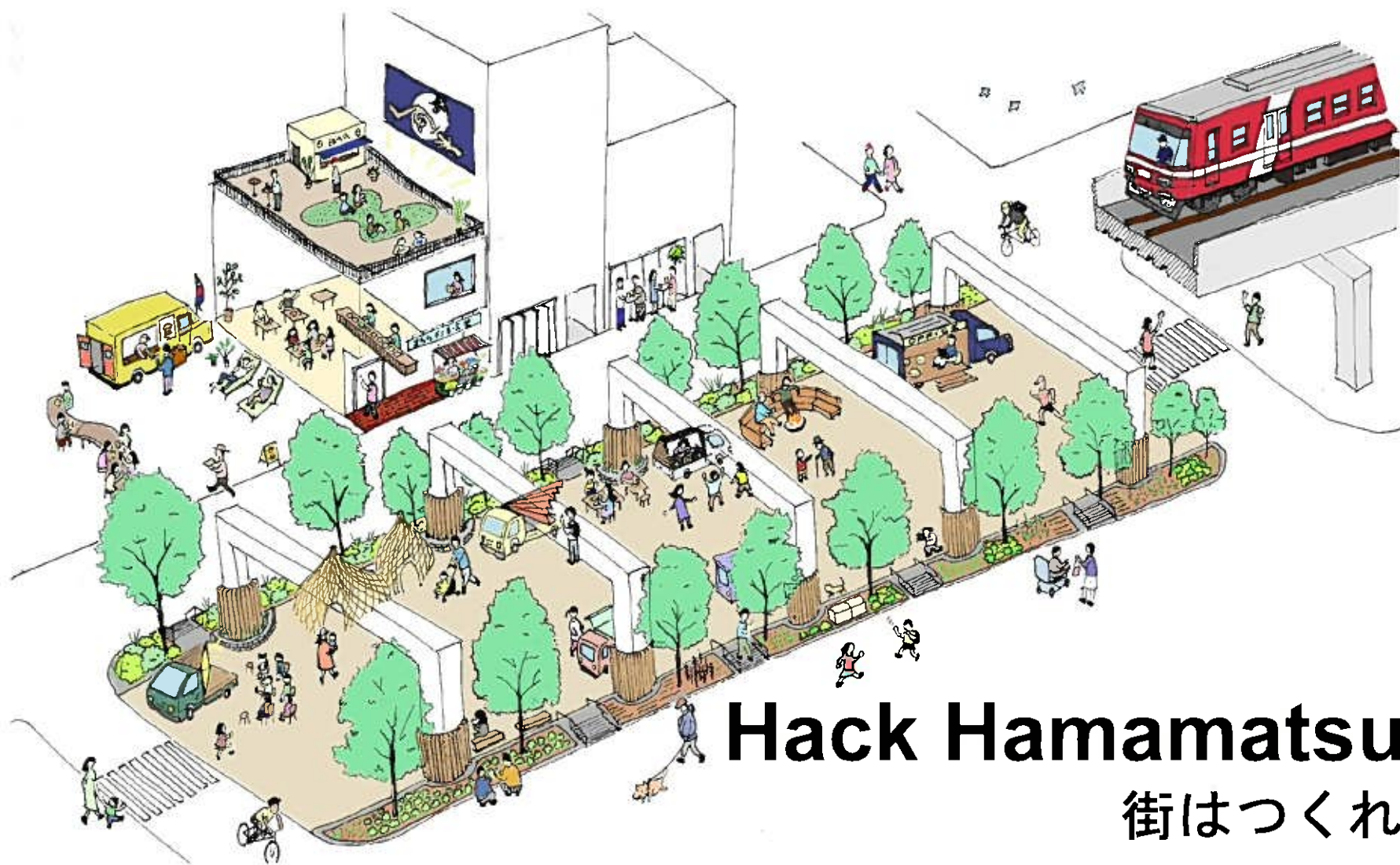
空きスペースを募集しています

この実証事業にご協力いただける方を募集しています。

もちろん費用はいただきません。
空きスペースを地域の発展・防災のためにお貸しいただける方、詳細はQRコードからご確認ください。



※QRコードは輪デンソーウェブの登録商標です



Hack Hamamatsu!!

街はつくれる

契機

Hack Hamamatsu

2021年2月、リノベーションスクール@浜松企業版にて構想を発表



四輪車・二輪車等の製造・販売



木材・建材販売



THE ORIENTAL TERRACE

レストラン、ブライダル



不動産活用プロデュース、
施設運営管理



株式会社HACK メンバー



代表取締役 高林健太
(同)アトラス 代表



取締役 伊達善隆
(株)鳥善 代表取締役



取締役 鈴木諭
(株)鈴三材木店 代表取締役



取締役 清水義次
(株)アフタヌーンソサエティ 代表取締役



監査役 長野修一
長野法律事務所



鈴木信吾
(株)鈴三材木店

狙い

Keyword

“オーナーシップ”

主体性を持って
地方というチャレンジしやすい
フィールドをHACKする

ビジョン

きれいにお膳立てされた社会や
“経済合理性”を中心に据えた
価値観ではなく

市民自らが考え実行する地域社会へ

方策

新しい概念の移動型店舗を軸とした
マルチセクターと共創するまちづくり

実施場所：新川モール

延長：南北約100m

面積：約1,300㎡

2022年4月より指定管理開始



具体的な事業

アイデア⇔プロダクト⇔フィールドを行き来する街づくり

1. コミュニティを形成する可動産スモールビジネスのプラットフォーム「ハコトラ」
1. 交流を促しアイデアを産み育てる「まちの社員食堂」
1. 実践するフィールドとしての公共空間活用

Project1 | ハコトラ

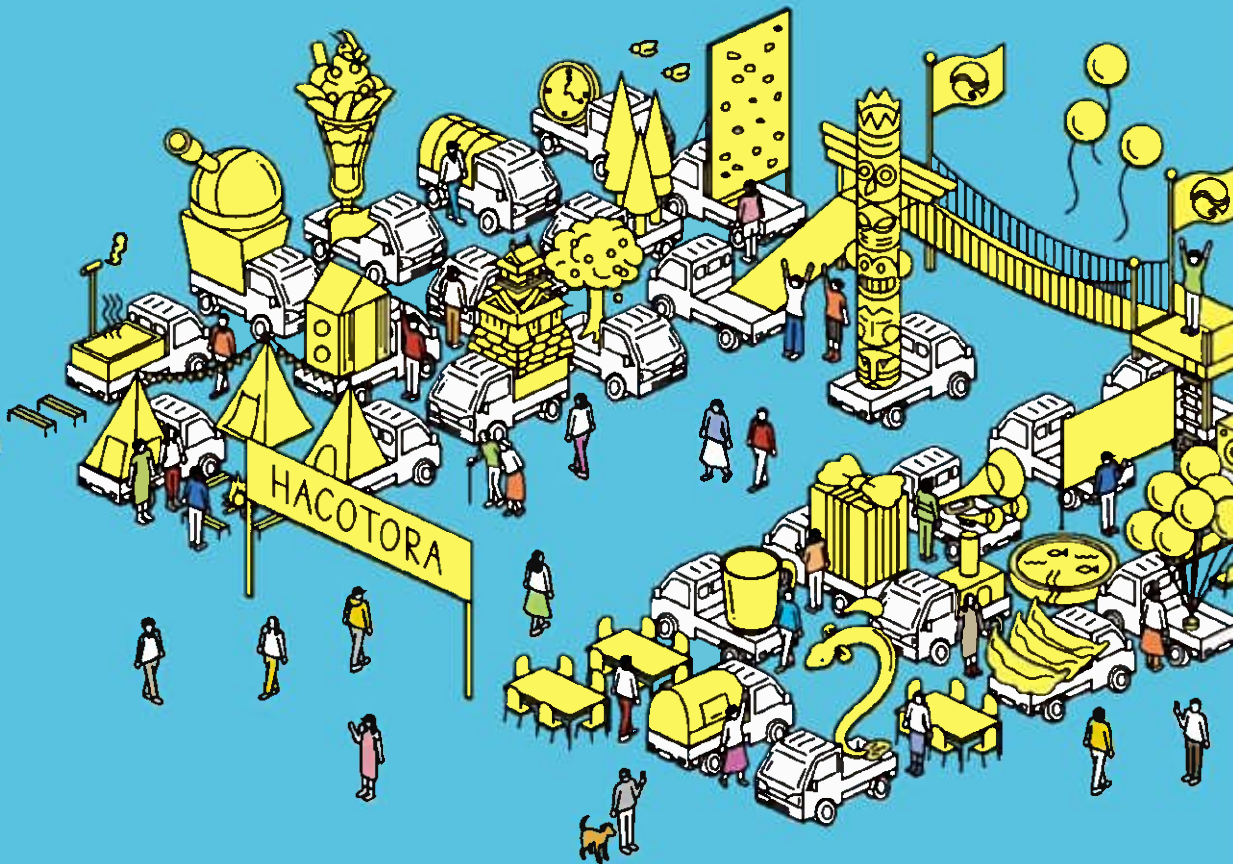
名前はある。デザインは、まだない。

浜松発

HACOTORA

新しい移動型店舗、
デザイン大募集!

優勝賞金
30万円



HACOTORA開発の経緯

- 女性を中心とする、スタートアップ支援
- イベント時における販売スペースのスターターキット
- 作家、創作活動によるコミュニケーションツール
- 無機質な空間を木材を使った心地いい空間に

⇒コロナ禍によって「ヒトとのつながり」は重要さを増した。

人と会うことには理由が必要。移動制限もある中で楽しめることの模索

地域の人が手掛けたものを地域のヒトが消費する。ローカルだからこそ楽しめる空間を

地域のヒトで作り上げることが出来れば

【最優秀賞】

- ・ハサミムシの翅の構造から着想を得たデザイン性と機能性の高い屋根
- ・コミュニティ形成の場となる空間

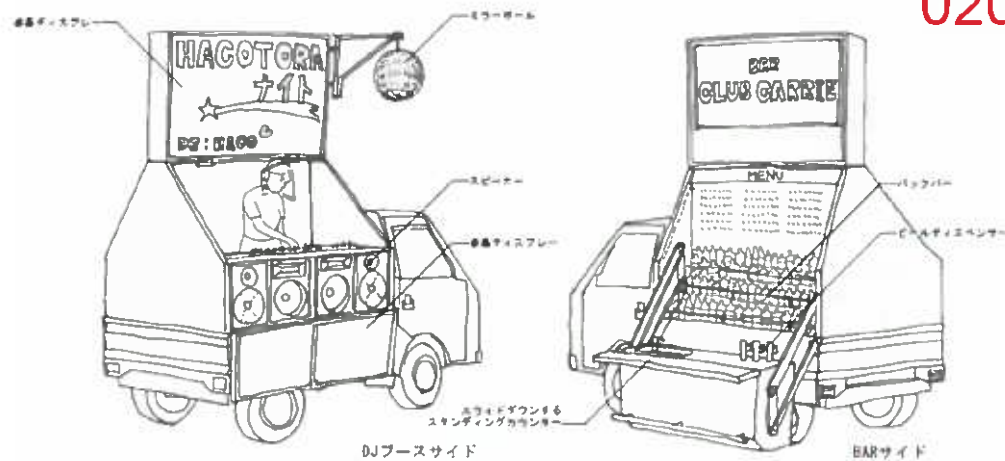
開発協力 



【優秀賞】

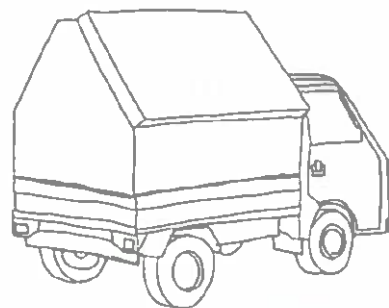
・ DJブースとBARの用途が二段構え。一台で大人の社交場に

・ 活かしきれていない屋外空間の活用に期待



020

DJ booth & Bar
CLUB Carrier (クラブキャリアー)
どこでもいつでもクラブを持ち運べる



格納時スタイル

3密を回避して皆で楽しめる屋外クラブイベントをどこでもいつでも開催できる CLUB Carrier (クラブキャリアー)。荷台の一面はDJブースになっており荷台の上からDJが会場を盛り上げます。車体側面と上部に裏面する液晶ディスプレイは音楽にあわせて映像作品を流し、ミラーボールの光が会場に輝きます。

反対側はスタンディングバーになっておりドリンクの提供。小さなカウンターですが、4段のバックバーを備えた本格派です。カウンターはスライドダウン倉物で荷台から降りてくる機構です。

格納時はシンプルな家型の箱になります。

【特別賞】

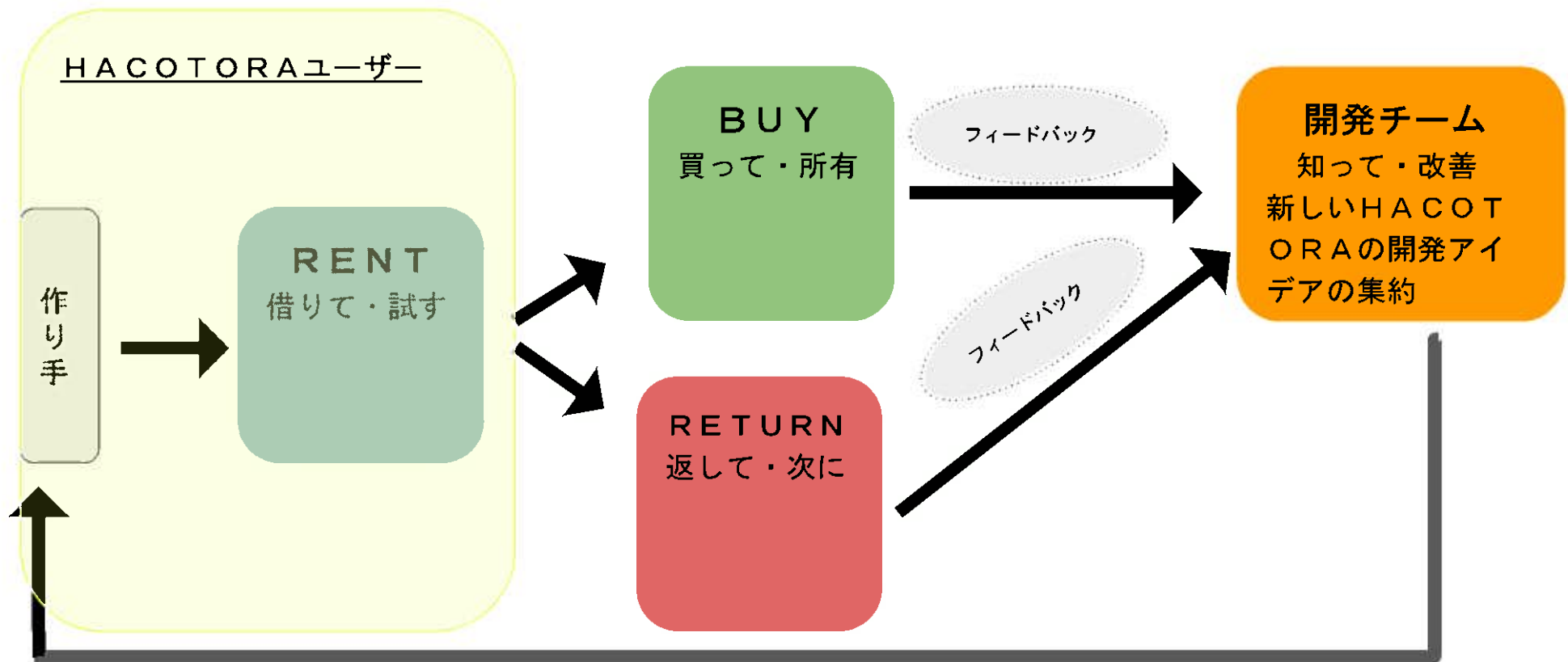
現代版紙芝居
限られた人と
同じ時間を共有。





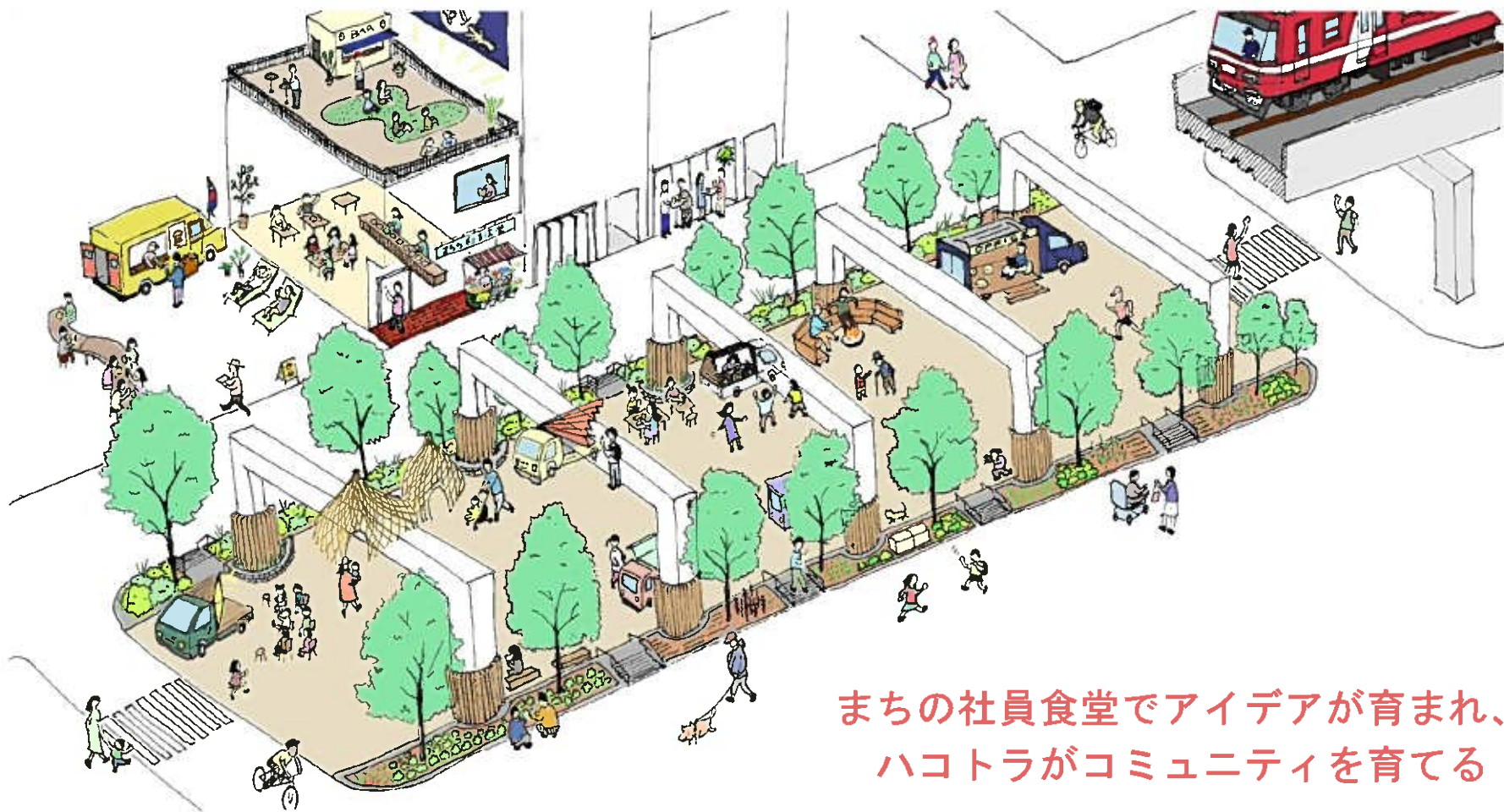


HACOTORA展開イメージ



NewタイプのHACOTORA設計・製作

素通りするだけだった高架下を、実践するフィールドに



まちの社員食堂でアイデアが育まれ、
ハコトラがコミュニティを育てる

**一緒にHACKしたい
人やアイデア
募集中！**

令和3年度

過疎地域等における無人航空機を活用した 物流実用化事業

株式会社ハマキョウレックス

機密 Confidential

HMK
HAMAKYOREX

目次

1 事業概要

2 事業の実施体制

3 スケジュール表

一般社団法人 環境優良車普及機構

令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金（社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業 計画策定に対する補助」）



9/21 採択通知受領

◆ 新たな新規事業として、地域の総合物流事業者として、フードデリバリー、買い物代行と宅配、医薬品等の宅配をまとめて行う。地域特性に合わせて、配送手段を組み合わせる(物流MaaS)

異なるサービスプラットフォーム

弊社既存荷主様

- フードデリバリー(多頻度)

Demaecan

- ネットスーパー(買い物支援)

 株式会社 **ビッグ富士**

- コンビニ(ラストワンマイル)

あなたと、コンビニ、

 **FamilyMart**

- ドラッグストア(医薬品配送)

ウエルシア薬局(株)

※協議継続中を含む

過疎地域物流の集約化

総合物流
(代表事業者)
東証1部

HMK
HAMAKYOREX

運行管理
物流センター
決済システム
(ASPアプリ)

新たな
物流MaaS

既存物流

地域特性に合わせた配送手段を提供

- ドローン配送(僻地・緊急性)(今回事業)



- 移動スーパー+ドローン配送(今回事業)



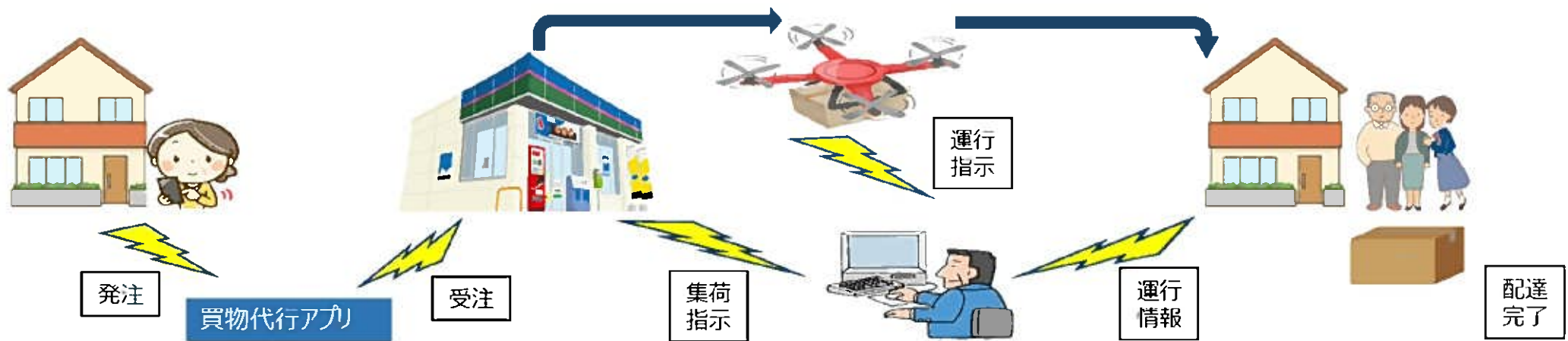
- EVオリジナル車両(開発中)



- 原付・軽4輪車(ガソリン)で配送(現状)

事業概略図（内容①）（受注管理・運行管理オペレーション）

- ◆ 物流事業者の観点で過疎地域における持続可能なドローン物流を検証します。
- ◆ 新たに買い物代行支援サービスを構築し、配送システムを組み合わせ、地域内物流を実現します。

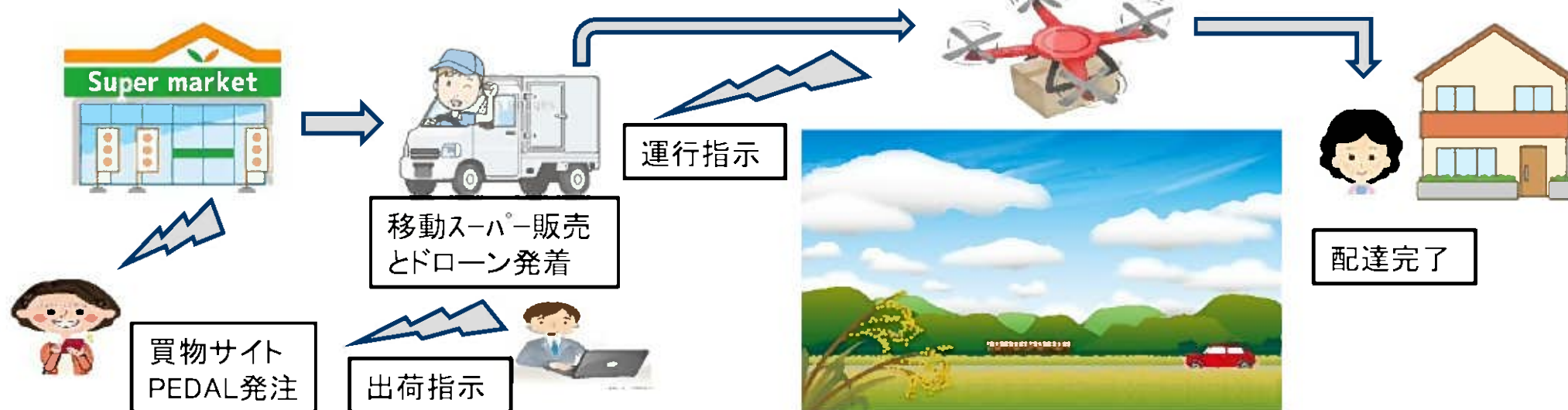


- ①利用者は、ネットスーパー買い物代行アプリのPEDALを通じて商品を購入し決済
- ②ハマキョウレックスはPEDAL受注情報から配車システムTODOCHに配送指示受信
- ③出荷店舗から集荷された商品をドローンに積み込む運行
- ④利用者宅（実証上は近隣許可地）へ配送し、終了



事業概略図（内容②）（移動スーパーとドローン輸送）

- ◆ 山岳過疎地域における持続可能な移動スーパー軽車両とドローン輸送で遠隔地にお届けします。



- ①利用者は、移動販売・配達可能日に合わせて買い物代行サイトPEDALから商品を発注し事前決済
- ②ハマキョウレックスは受注情報から当該地域へ移動販売とドローンを積込み、過疎地域である販売、発着拠点に移動
- ③移動販売軽車両から商品をドローンに積み込み運行
- ④利用者宅（実証上は発着地点近隣許可地）へ配送し、終了



実証1-1案：ファミリーマート天竜二俣店 → 天竜川登り → 天竜区青谷

◆ B to B to C 宅配（非DID地区：目視外、2.4GHz + LTE通信、補助者あり、高低差あり）



実証1-3案：ウエルシア天竜船明店 ⇔ 山越え ⇔ 天竜武道館

◆ B to B to C 宅配（非DID地区：目視外、2.4GHz+LTE通信、補助者あり、高低差あり）



実証2 (案) : 旧竜川中学校 ⇄ 天竜川 ⇄ 天竜ボート場

◆ B to B to C 宅配 (非DID地区 : 目視外、2.4GHz+LTE通信、補助者あり、高低差あり)



別紙 2 : 導入するドローンの仕様 : エアロボスペック



Delivery Drone

AEROBO®

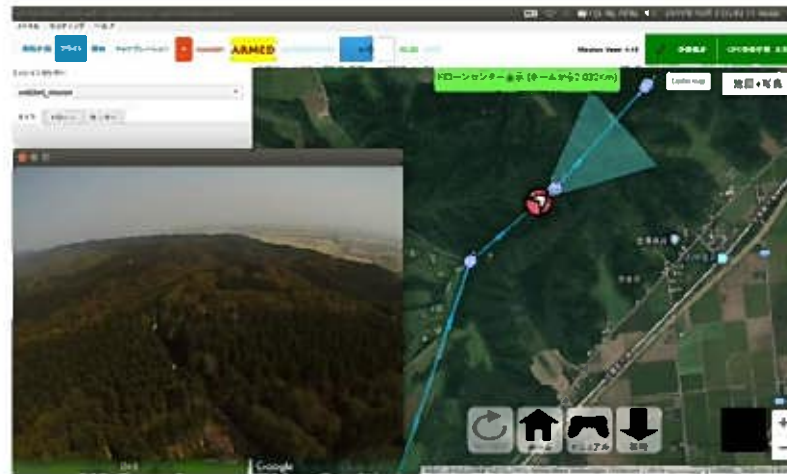
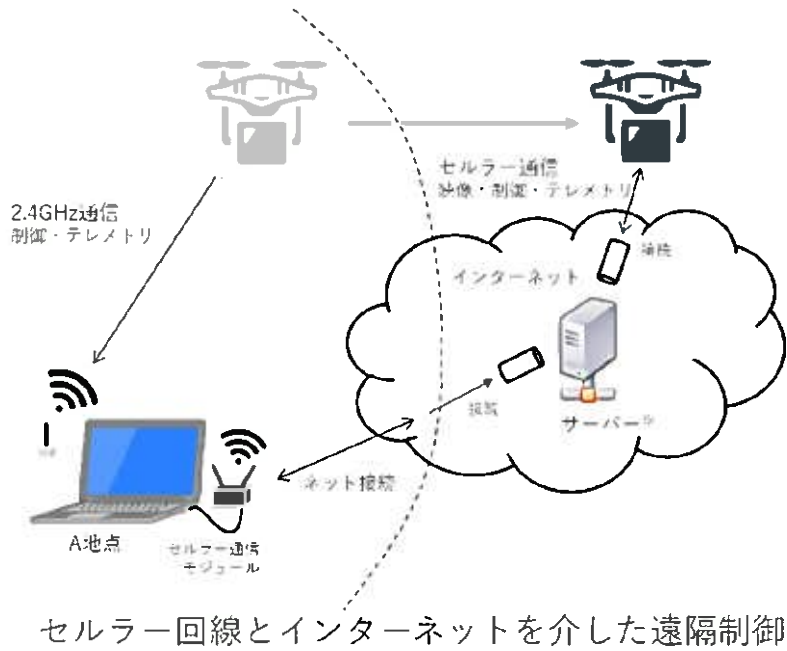
1kg 10km
Delivery

AS-MC03-TBox

AS-MC03-T (汎用型)	
サイズ (縦x横x高さ)	プロペラ無し 517x517x450 mm プロペラ有り 943x943x450 mm (ガード装着)
重量	2.63kg 2.85kg (ガード装着時)
最大搭載重量	3kg
機体IP等級	IP43
フライト コントローラー	自社製フライトコントローラー +アプリケーションプロセッサ
最大飛行速度	54km/h
最大飛行時間	20 / 28分 @Payload 1kg
最大風速対抗	12m/s以下
センサー	GPS, 加速度/角速度/地磁気 (各3軸), 気圧
動作環境温度	-10~40°C (バッテリー除く)
GNSS	GPS、準天頂衛星QZSS、GLONASS
動作周波数	機体制御 2.4GHz、 映像伝送 2.4GHz または 5.7GHz または 5.8GHz
電波到達距離	600M (標準2.4GHz帯使用時)、拡張時5km
対応USBポート	USB, UART
輸送箱	外寸: 186x258x155mm 重量: 267g
安全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED灯火による機体前方、後方の視認性確保 ・ バッテリー残量基準値以下による自動帰還 ・ 通信断による自動帰還 (帰還方法設定可能) ・ GPS信号断による緊急着陸 ・ 遠隔での緊急停止機能 ・ 暴走飛行防止 (異常傾き検出時のプロペラ自動停止)
バッテリー	
種類	リチウムポリマーバッテリー
容量	6S 8,000 mAh / 16,000 mAh
充電環境温度	摂氏 10°C以下、50°C以上では充電しない

別紙2 使用機材の通信方式

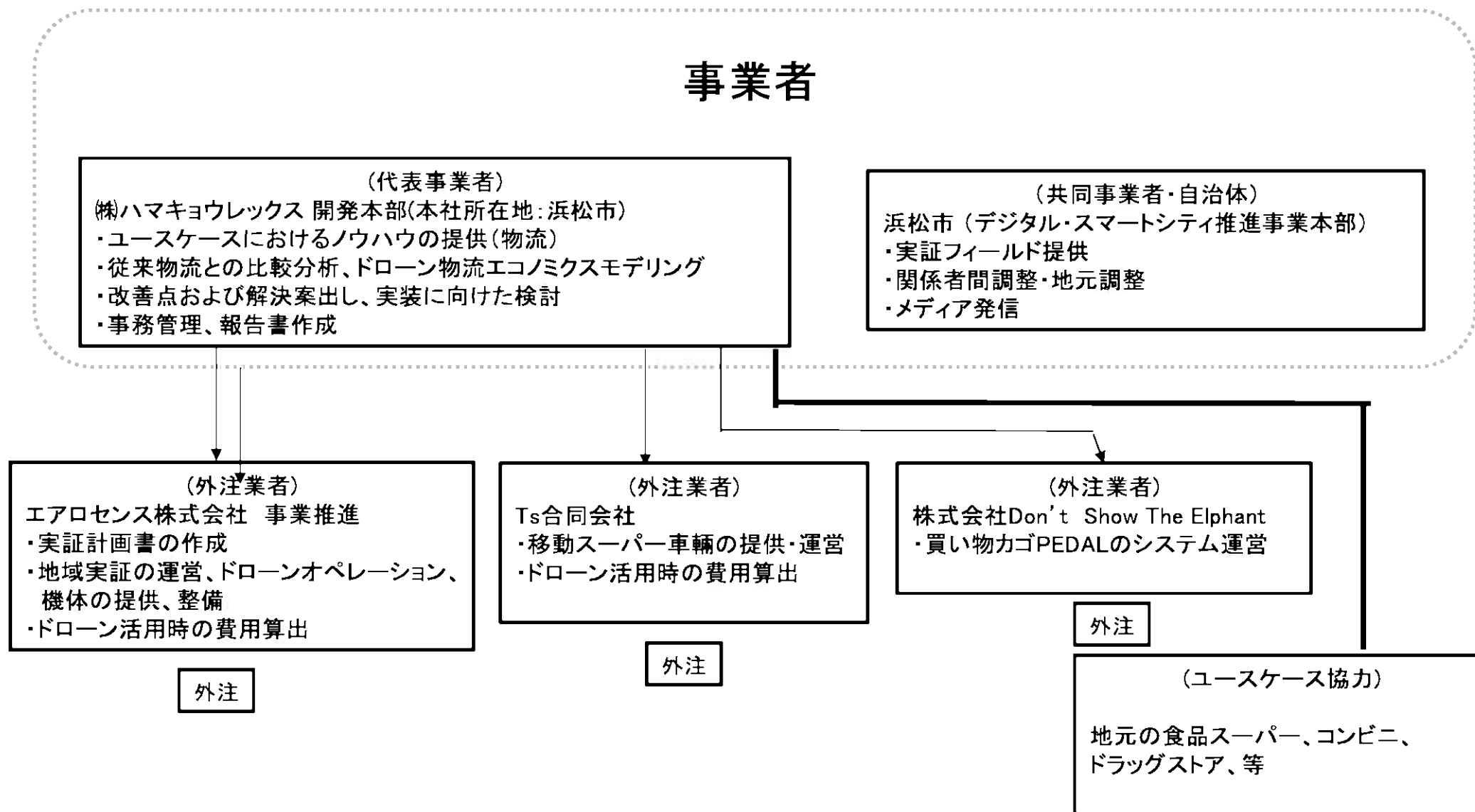
◆ 使用機材：2.4GHz・セルラー通信＋自動飛行ソフト（Aerobo Station）



ドローン映像及び位置を伝送し、
コントロール端末で運行を確認



◆ 事業の実施体制と役割・責任主体



スケジュール

	10月上、中旬	10月下旬	11月 18、19日	11月中、下旬	12月 2、3日	12月～1月	2月
リソース／実施項目	「実証1、2」 計画・調整		★ 実証1	「実証1」 分析・反省	★ 実証2	「実証2」 分析・反省	報告書作成 3/10 〆切
(株)ハマキョウレックス<代表：物流事業検証> 主任技術者 1名：検証責任者 主任技師 1名：成果作成者 技師A 1名：成果作成者	計：2人日 2人日 — —	計：2人日 2人日 — —	計：10人日 2人日 4人日 4人日	計：2人日 2人日 — —	計：2人日 2人日 — —	計：10人日 2人日 4人日 4人日	計：2人日 2人日 — —
エアロセンス(株) <外注：飛行運用統括> 主任技術者 1名：飛行責任者 理事 1名：安全運航管理者 主任技師 2名：操縦者、機体整備 技術員 2名：操縦者、業務補佐	計：5人日 — 2人日 2人日 1人日	計：11人日 2人日 2人日 4人日 3人日	計：5人日 — 2人日 2人日 1人日	計：5人日 — 2人日 2人日 1人日	計：11人日 2人日 2人日 4人日 3人日	計：3人日 — 2人日 — 1人日	計：3人日 — 2人日 — 1人日
浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部 職員3名 (補助対象外)	現地調整	現地立会	現地ニーズとの照らし合せ	現地調整	現地立会		実装に向けた協議

浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト

■プロジェクト名称

キャンピングカーを活用した移動保健室 試行的実施（2021年11月-12月）

■実施団体

株式会社フジEAPセンター（浜松オフィス：浜松市中区中央1-6-1 松野ビル3階）

■背景・目的

<背景>

- ① コロナ禍における受診控えが広がり、労働者の健康悪化が懸念されている
- ② 多忙な労働者が、日中に時間をかけて医療機関、相談機関に行く時間が取れない
- ③ 事業所に産業医・保健師が訪問しても、プライバシーが保たれる個室空間が確保できない

<目的>

- ・「待ち」の姿勢ではなく、「攻め」の姿勢による労働者の健康保持
- ・浜松市の中心地と遠隔地の格差是正
- ・モビリティの存在価値の一つは「安心して話せる個室空間の提供」になるとの仮説を検証

■概要

待っているだけでは、救えない「悩み」がある



※将来イメージ（自動運転）



※将来イメージ（個室で遠隔相談）



- 浜松市職員（所属長）対象
- ① 天竜区役所（11月17日）
 - ② 東区役所（11月25日午前）
 - ③ 南区役所（11月25日午後）

遠方でもこちらから出向く
（片道約1時間）



ハイエースを改造した専用車両



※遠隔眼科チェック、郵送健診等を検討中



Hamamarau ORI-project 浜松市実証実験事業 採択

キッチンカーを活用した 市民参加型6次化実証プロジェクト



Yui support

Yui support株式会社

Yui support 株式会社

6次産業化プロデューサー(食Pro)

代表取締役 玉置麻菜美





地産地消
(給食卸事業)



地元農産物



給食食材



苺の生産販売



会員制度



農業体験



加工



価値創造(6次化)

6次産業化プロデュース・ブランディング・マーケティング・販売

ブランディングプロデュース



基本理念(ビジョン)

【農×食×人を結び、新しい価値を創造し未来へつなぐ】



生産者、販売者、消費者、皆が地域の食に関わり協力し共存できる仕組みを作ることにより
地域の幸せ地域の発展に貢献をすることを目指します。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

12 つくる責任
つかう責任



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを
確保する

【すべての人が一次産業に関わる社会へ】

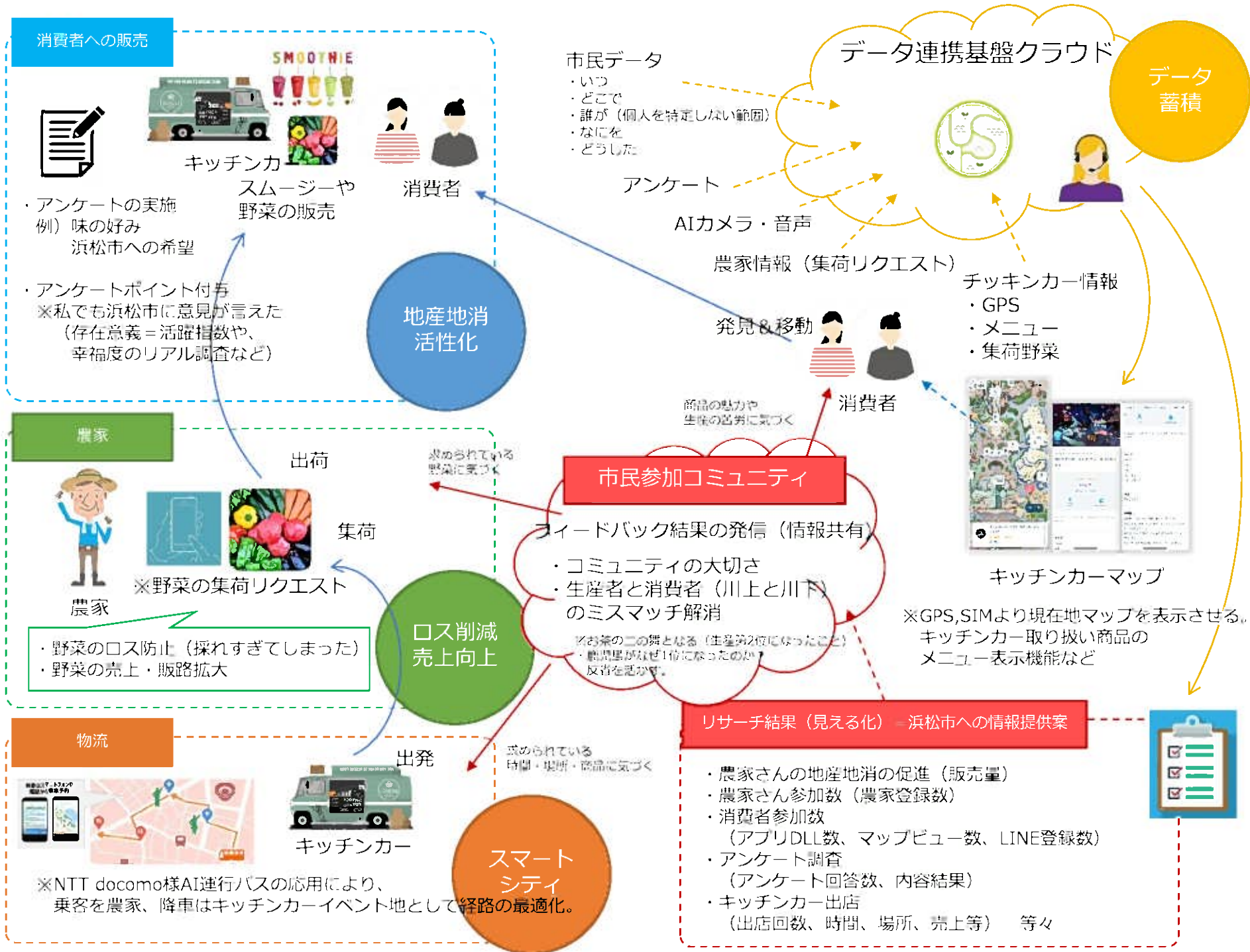
Yui support キッチンカーの チャレンジ！！



【例】地域農産物 × 地域企業







ぜひご登録をお願いします！

Yui ~結~
shizuoka
LINE登録



Yui support



ご清聴ありがとうございました。



Yui support

8 意見交換